

【帳票3】 エコオフィス、本来業務における環境配慮、独自施策の取組状況

所属名: 環境モデル都市推進課

記入者(エコ推進員)名: 竹田 有希

確認責任者(エコ推進責任者)名: 川島 健司

<p>【取組項目について】 ※取組項目一覧から3つ以上選択し、目標を設定してください。 ①No.1～10: エコオフィスの具体的取組例を参考に記入してください。 ②No.11: ①以外の取組を実施する場合に記入してください。 ③No.12～19: 帳票2で記入した計画で定める施策以外で実施する場合は記入してください。 ④No.20,21: 上記以外で本来業務における取組、その他の独自施策を実施する場合は記入してください。</p>	<p>【記入要領】 ①取組項目一覧シートから、今年度取り組む項目No.を選択します。 ②取組内容が自動入力されます。 ③今年度の目標・具体的内容を記入してください。 ※設定にあたっては、極力、進捗状況を定量的に把握できる数値目標を用いるように努めてください。 <取組年度終了後(平成29年4月頃を予定)> ④取組実施後、進捗状況と課題と改善方針を記入してください。 ※取組の進捗状況は、設定した目標に対しての結果を具体的に記入してください。</p>
--	--

項目NO.	取組内容	目標		
		今年度の目標・具体的内容	取組状況	
		取組の進捗状況	課題と改善方針	
1	職場内で省エネルギー(電気、ガス、灯油などの利用削減や効率的利用)に取り組む	年間を通して昼休み消灯を徹底して実施する。 実施率:100%	昼休みは、来客用カウンターの付近以外は消灯を徹底し、節電に努めた。 実施率:100%	環境施策を実行する課として、他所属への呼びかけにも力を入れて取り組む。
3	職場内で紙使用の抑制再使用リサイクルに取り組む	裏紙活用を徹底することでOA用紙購入量を前年度から10%削減する。 (H27購入実績:A4→110箱、A3→6箱)	当課は、地域活力創生部の庶務担当課として、複数課が共同で使用するプリンターの紙をまとめて購入している。プリンターのトレイの一つを裏紙専用にし、パソコンやプリンター本体にも「裏紙専用トレイ」であることが分かりやすい表示にした上で、周知を徹底した。 以下のとおり目標を達成できた。 (H28購入実績A4→59箱、A3→5箱、削減率:重量計算で55%)	裏紙活用は課員のほとんどに定着している。しかし、全庁的には紙の購入量は増加しているため、今後は、他所属での裏紙活用やペーパーレス取組の実施状況を定期的に確認した上で、積極的に呼びかけをおこなっていく必要がある。
9	庁舎施設へ出入りする事業者对环境配慮の要請をする	【要請内容】 職員への不必要な個別チラシの配布自粛ごみ削減に向けて取り組んでいる本市の姿勢を環境モデル都市推進課が率先して提示するため、昼食時チラシの配布は基本にお断りする。	チラシ配布に来られた事業者に対して、当課が紙の削減に取り組んでいる旨伝え、配付をお断りした。 実施率:30%程度	職員が加入している保険会社等に対しては、なかなか断るのは難しいため、実施率が低くなっている。
12	公共施設における再生可能エネルギー(太陽光、風力、バイオマスなど)の活用を検討し、導入する	再生可能エネルギー導入促進及び避難所の防災機能強化のため、県補助金を活用し、北コミュニティセンターへ太陽光発電及び蓄電池を設置する。	計画どおりH29年2月に北コミュニティセンターに太陽光発電システム(出力規模:20kW)と蓄電システム(容量:20kWh)を設置した。	今後も、他課と密に連携を図りながら、公共施設への再エネ・蓄エネシステム導入を積極的に検討する。
20	本来業務における環境配慮	環境教育の推進 近畿大学と連携し、市内小学生を対象とした参加型の新たな環境教育プログラムを1つ以上立案する。	近畿大学総合社会学部環境・まちづくり専攻の学生と連携し、小学校高学年を対象とした参加型出前授業「大学生と一緒に考えよう!地球温暖化」をテーマとした企画を1つ立案し、市内の公立小学校に周知を図った。	出前授業の申込があつてから、実際に大学生と共に授業を実施する。初めての試みではあるが、小学生にとって身近な存在である学生と一緒に学ぶことで、具体的な行動変容につなげたい。

項目 NO.	取組内容	目標	取組状況	
		今年度の目標・具体的内容	取組の進捗状況	課題と改善方針
20	本来業務における環境配慮	地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」に賛同し、家庭や個人の自発的な地球温暖化対策への取組を進めるため、普及啓発を図る。 普及啓発事業の実施:4事業以上 COOL CHOICE賛同者数:300人以上	市ホームページにおいて、「COOL CHOICE」に賛同することを宣言し、以下の4事業において普及啓発を実施した。 ・環境シンポジウム ・環境啓発絵画の募集 ・環境白書の作成 ・かんきょういこまの作成 COOL CHOICE賛同者数実績:305人	それぞれの事業の中で啓発を展開したが、広報紙等ではそれほど大きくCOOL CHOICEについて触れることができなかった。H29年度は、広報紙での特集ページや、より多くの人に自発的な取組を促せるよう工夫する。
21	その他独自施策	カーボン・オフセットの導入 昨年に引き続き、本市が主催するイベント開催に係る二酸化炭素排出量をクレジット購入によってオフセットする。 導入するイベント:2以上	本市と環境基本計画が主催する2つのイベントにおいて、カーボン・オフセットを導入した ・環境フェスティバル(オフセット量:4t-CO2) ・環境シンポジウム(オフセット量:1t-CO2)	本市において開催する大規模なイベントのうち、他課が所管する事業においても、カーボン・オフセットを導入できないか検討を進める。導入可能であれば、庁内での他課との連携の仕組みを確立する必要がある。